

# 応用編：米加工品（米菓）

---

製造工程	違反事例	ミスの要点	改善例	日常管理のポイント
<p>原料受入・調整</p> <p>生地調整・成形</p> <p>加熱</p> <p>手細工加工等</p> <p><b>包装</b></p> <p>出荷</p>	<p><b>米菓の原材料の「うるち米」の国別重量順を誤表示</b></p> <p>原料米穀のうち、国内産と米国产の配合割合を変更したため、包材メーカーに国別重量順の表示の変更を指示。</p> <p>その後、包材が納品されたが表示の変更が反映されていないことに気づき、包材メーカーに指摘。次の納品分は正しく印刷されているものと思い込み、表示を確認せず使用したが、表示は変更されておらず、誤表示。</p> <p><b>アレルギー含有商品の一部に通常商品の表示を添付</b></p> <p>2種類の米菓のうち、一方(米菓B)の製造後に、余った包材を、別の米菓(米菓A、アレルギーを含む)の包材の段ボールに戻した。</p> <p>後に米菓Aの製造した際、紛れ込んだ米菓Bの包材を使用。予備包材の取扱のルールもなし。</p>	<p>誤使用(確認不足)</p> <p><b>一度、検品し、誤表示の改版を依頼。その後、直っていると思い込み確認せず使用。</b></p> <p>誤使用(識別ミス・確認不足)</p> <p><b>包材の識別・確認が不十分で取り違えた。</b></p>	<p>問題の包材メーカーに注意喚起、他の包材メーカーにも事故の発生事例を報告し、改版時のチェック体制の報告を求めた。</p> <p>包材の改版時には、包材メーカーからチェック用のサンプルを取り寄せ、工場と、本社でも確認を実施。</p> <p>包材の判別を容易にするため、包材段ボールのテープ色を変更したほか、アレルギーを含む商品の包材は、他の商品と保管場所を区分。</p> <p>包材を資材倉庫から出す際、枚数、持ち出し者を記録し、3名でチェック。</p>	<p><b>入荷時の検品は確実に実施しましょう。</b></p> <p>ヒント： 複数名での効果的なチェックを行なうことで、「異常検知力」が高まります。</p> <p>予断を防ぎ、多角的なチェックにすることが重要です。</p> <p><b>包材間違いは命取り。確認と管理を徹底しましょう。</b></p> <p>ヒント： 異なる種類の包材であることを分かりやすくすることで、「異常検知力」が高まります。</p>

応用編：米加工品 米菓（包装）

製造工程	違反事例	ミスの要点	改善例	日常管理のポイント
<p>原料受入・調整</p> <p>↓</p> <p>生地調整・成形</p> <p>↓</p> <p>加熱</p> <p>↓</p> <p>手細工加工等</p> <p>↓</p> <p><b>包装</b></p> <p>↓</p> <p>出荷</p> <p>↓</p>	<p><b>国内産もち米を使用した米菓に特定のJAのもちを使用と表示</b></p> <p>商品企画時には、原料米穀を特定のJAからのみ仕入れていたが、後に原料を国内産全般に変更。</p> <p>しかし、品質管理担当者が引き継ぎをせず、商品企画時の包材を変更せずに使用。</p> <p>表示のチェックの体制もなし。</p>	<p>伝達ミス 誤使用(識別ミス)</p> <p><b>商品企画の変更内容が十分に伝達されず、表示のチェック体制もなく、誤った包材の使用を継続。</b></p>	<p>品質管理担当部署を新設し、表示チェック体制を強化。</p> <p>原材料マスター一覧を工場に掲示し、全従業員に共有。</p> <p>原料米をトレースするため、ロット番号を付して管理。</p> <p>作業確認記録の用紙を原料の種類別に色分けし、識別。 (有機米 = 白、加工用米 = ピンク、一般用米 = 黄色)</p>	<p><b>包材間違いは命取り。確認と管理を徹底しましょう。</b></p> <p>↑</p> <p>ヒント： 異なる原材料であることを分かりやすくすることで、「<b>異常検知力</b>」が高まります。</p> <p>また、原料米がどこからどこへ移動したかが分かるようにすれば、「<b>異常源逆探知力</b>」につながります。</p>

## お問い合わせ先：

【担当部署】 農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課

【電話番号】 03-3502-5716